

くるめ 子ども・子育てプラン(久留米市次世代育成支援行動計画)

後期計画の進捗結果

各施策毎の評価としては、A評価が全体の約60%、B評価が約37%となり、計画全体としては、4つの基本目標の達成に向けて具体的施策を概ね順調に実施できた。数値目標を達成できなかったものも一部あったが、それらについては各分野の行政計画等において、引き続き事業の目的達成に向けて取り組んでいく。

安心して子育てできる環境づくりとしては、保育所や学童、延長保育の定員増加による多様な保育サービスの提供や子育て支援センター等での情報提供・子育て相談、ひとり親家庭や障害のある子どもを持つ家庭への支援の充実、経済的負担軽減のための乳幼児医療費助成・保育料軽減措置等を実施した。

子どもが健やかに育つ環境づくりでは、各種健診事業や訪問事業、相談事業の実施により妊娠・出産・乳幼児期の健康づくりの支援を行った。

子どもの生きる力を育む環境づくりとしては、学校現場においては、スクールカウンセラーの配置による相談体制の確保や耐震改修による児童生徒の安全な教育環境の提供を実施した。

子育て・子育てにやさしい環境づくりでは、公共施設等での子供連れに配慮した整備やバリアフリー化の推進、地域との連携による地域防犯・交通安全活動の推進が図られた。

今後は、くるめ子どもの笑顔プランで本計画の考え方を継承し、子どものための教育・保育給付、地域子ども・子育て支援事業、その他子ども・子育て支援に係る施策を行っていくとともに、保健・医療、教育、まちづくり等の分野においても、本計画を継承する各分野の行政計画と一体となって、子ども・子育て支援を総合的に推進していく。

後期計画の達成度の状況

総括的評価 A 81.19

注)総括的評価は、各評価区分をA⇒90%(0.9) B⇒70%(0.7) C⇒50%(0.5) D⇒30%(0.3) E⇒10%(0.1)の中間点で算出し、加重平均したもの

評価区分	施策数	割合(%)
A	134	59.0
B	86	37.9
C	7	3.1
D	0	0.0
E	0	0.0
合計	227	100.0

☆プラン上の施策数

計画当初	基本目標数 4 基本施策数 14 個別施策数 223(うち 数値目標設定施策 68)
22年度末	個別施策数 224(うち 数値目標設定施策 68) ・新規追加 1
23年度末	個別施策数 227(うち 数値目標設定施策 68) ・新規追加 4 ・廃止により ▲1
24年度末	個別施策数 227(うち 数値目標設定施策 68)
25年度末	個別施策数 227(うち 数値目標設定施策 68)
26年度末	個別施策数 227(うち 数値目標設定施策 68)

施策の達成度の基準		基準の目安	
		事業進捗状況	課題改善状況
A	たいへん高い(81~100%)	計画どおりに施策を(ほぼ)遂行することができた。	改善すべき課題が(あまり)なく、(ほぼ)現状のままの施策推進でよい。
B	高い(61~80%)	計画どおりに施策をほぼ遂行することができた。	改善すべき課題が一部あるが、大きな見直しが必要でない。
C	普通(41~60%)	計画どおりに施策をほぼ遂行することができた。	改善すべき課題があり、見直しが必要である。
D	低い(21~40%)	計画どおりに施策を遂行することがあまりできなかった。	改善すべき課題があり、見直しが必要である。
E	たいへん低い(0~20%)	計画どおりに施策を遂行することができなかった。	改善すべき課題があり、大きな見直しが必要である。

基本目標ごとの総括的な評価等について

基本目標1 安心して子育てできる環境づくり

総括的評価 A 82.3

評価区分	A	B	C	D	E	計
施策数	95	44	6	0	0	145
割合(%)	65.5	30.3	4.1	0.0	0.0	100

※施策数は再掲事業を含む

基本施策	後期計画の達成状況	主な施策の方向	主な実績と課題	主な目標数値の達成状況	くめり子どもの笑顔プランに引き継いだ施策																					
(1) 保育サービス等の充実	<p>総括的評価 A 85.0</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価区分</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施策数</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>75.0</td> <td>25.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	評価区分	A	B	C	D	E	計	施策数	15	5	0	0	0	20	割合(%)	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	100	<p>□延長保育や夜間保育、休日保育等、多様な保育ニーズに対応した保育サービスの充実を図る。</p> <p>□保育環境の整備や保育士研修等を行い、保育サービスの質の向上を図る。</p> <p>□病児・病後児保育や子どもの一時預かり事業等利用促進を図る。</p> <p>□ファミリー・サポート・センター事業やエンゼル支援訪問事業等の利用促進を図る。</p>	<p>【実績】</p> <p>■保育所や学童保育所の定員、延長保育の実施箇所の増加により多様な保育サービスの提供に努めた。</p> <p>■研修体系を見直し、保育士の経験や保育課題等にに応じた研修で公私立保育所共に保育の質の向上に努めた。</p> <p>■病児保育事業施設数の増加、エンゼル支援訪問事業の産前利用開始等により多様な保育サービスの充実を図った。</p> <p>【課題】</p> <p>■保育所は定員を増加したが、待機児童が発生しており、引き続き定員拡大に努める必要がある。学童保育所は高学年児童の受入を行う必要がある。</p> <p>■病児保育・休日保育は利用が集中する時期の利用拡大に向けた取組や、地域バランスを考慮した実施か所数の拡大が必要である。</p>	<p>○通常保育受入可能数 目標:7,450人/日 実績:7,180人/日⇒8,806人/日</p> <p>○学童保育受入可能数及びクラブ数 目標:3,580人,59ヶ所 実績:3,140人/日,50ヶ所⇒3,830人,75ヶ所</p> <p>○保育士研修参加者数 目標:延べ16,000人 実績:3,145人⇒延べ18,173人</p> <p>○病児保育受入可能数及び実施か所数 目標:15人/日,3ヶ所 実績:10人/日,2ヶ所⇒15人日,3ヶ所</p> <p>○エンゼル応援隊派遣人数 目標:820回 実績:636回⇒:1,100回</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●通常保育事業の充実 ●延長保育事業の充実 ●夜間保育事業の推進 ●休日保育事業の充実 ●認定子ども園制度の活用 ●放課後児童健全育成事業の充実 ●第三者評価制度の充実 ●保育士研修の実施 ●保育所施設の整備充実 ●病児・病後児保育事業の充実 ●子どもの一時預かり事業の充実 ●子育て短期支援事業の実施 ●ファミリー・サポート・センター事業の充実 ●エンゼル支援訪問事業の充実
評価区分	A	B	C	D	E	計																				
施策数	15	5	0	0	0	20																				
割合(%)	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	100																				
(2) 子育て不安の軽減と児童虐待防止対策の推進	<p>総括的評価 A 85.2</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価区分</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施策数</td> <td>22</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>75.9</td> <td>24.1</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>※施策数は再掲事業を含む。</p>	評価区分	A	B	C	D	E	計	施策数	22	7	0	0	0	29	割合(%)	75.9	24.1	0.0	0.0	0.0	100	<p>□子育て支援拠点事業の整備に努めるとともに、身近な地域での情報提供・相談体制づくりを進める。</p> <p>□子育て情報誌やホームページ等の各種媒体を活用した情報提供の充実を図る。</p> <p>□子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会や情報を提供する。</p> <p>□児童虐待防止法の周知等の啓発を行い児童虐待防止ネットワークの充実や関係者の資質向上を図るとともに、関連部局間の連携を強化し、虐待の早期発見・対応を図る。</p>	<p>【実績】</p> <p>■H23年度北野子育て支援センターを開設し地域の子育て支援拠点を充実した。</p> <p>■便利マップ等の情報誌の配布や講演会等を開催し子育て不安の軽減に努めた。ブックスタートや家庭教育学級への補助・支援により家庭教育への支援に努めた。</p> <p>■セーフコミュニティ児童虐待防止対策委員会を開催する等児童虐待の現状や原因を分析し、関係機関との連携強化を図った。</p> <p>【課題】</p> <p>■子育てに関する相談受付では相談内容の複雑化に対応するため、関係機関との連携を深める必要がある。</p> <p>■子育て支援を必要としている家庭へ届くような相談・支援窓口等の効果的な広報・啓発方法を検討する必要がある。</p> <p>■児童虐待防止では、地域での見守りを行うためのネットワークづくりが求められる。</p>	<p>○子育て支援センターサロン参加者数及び実施か所数 目標:40,000人,9ヶ所 実績:38,388人,8ヶ所⇒50,364人,9ヶ所</p> <p>○便利マップ配布数 目標:12,000冊 実績:9,000冊⇒13,000冊</p> <p>○ブックスタート参加率 目標:58%以上 実績:51.5%⇒58.4%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地域子育て支援センター事業の充実 ●こんにちは赤ちゃん事業の実施 ●児童虐待防止ネットワークの充実 ●子どもや家庭に関する相談の充実 ●母子保健事業を活用した子育てに関する情報提供・相談
評価区分	A	B	C	D	E	計																				
施策数	22	7	0	0	0	29																				
割合(%)	75.9	24.1	0.0	0.0	0.0	100																				

基本施策	後期計画の達成状況	主な施策の方向	主な実績と課題	主な目標数値の達成状況	くめ子ども笑顔プランに引き継いだ施策																					
(3) 地域での交流の場づくりや子育てを支える活動の促進	<p>総合的評価 B 73.3</p> <table border="1"> <tr> <td>評価区分</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>施策数</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>41.7</td> <td>33.3</td> <td>25.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>※施策数は再掲事業を含む。</p>	評価区分	A	B	C	D	E	計	施策数	5	4	3	0	0	12	割合(%)	41.7	33.3	25.0	0.0	0.0	100	<p>□子育て交流プラザ「くるん」や地域子育て支援センター、つどいの広場等において、保護者同士の交流を進める。</p> <p>□子育てサークルの育成及び活動支援を行う。</p> <p>□地域における子育て支援に関する広報啓発や子育て委員会や、子育て支援ボランティア等の育成及び活動支援を行う。</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■くるんや地域子育て支援センターでの地域で保護者同士が情報交換や交流が出来る場を提供し、子育ての不安の軽減や仲間作りの支援を行った。 ■地域毎に設置しているすくすく子育て委員会については、実施箇所数は増加できなかったが、サロンの参加者数が増加できた。 ■各種ボランティア講座を開催し子育て支援ボランティアの育成を図った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■子育てサークルの育成や活動支援の方法について再検討が必要。 ■すくすく子育て委員会未設置校区での組織づくりの支援や子育て支援ボランティア確保のための周知・啓発を行っていく必要がある。 	<p>○くるん利用者数 目標:54,000人 実績:48,959人⇒48,659人</p> <p>○つどいの広場実施か所数 目標:8ヶ所 実績:2ヶ所⇒3ヶ所</p> <p>○校区サロン利用者数及び組織数 目標:13,000人,31ヶ所 実績:12,194人,29ヶ所⇒13,641人,29ヶ所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●つどいの広場事業の推進
評価区分	A	B	C	D	E	計																				
施策数	5	4	3	0	0	12																				
割合(%)	41.7	33.3	25.0	0.0	0.0	100																				
(4) きめ細かな配慮を必要とする子育て家庭への支援	<p>総合的評価 A 81.5</p> <table border="1"> <tr> <td>評価区分</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>施策数</td> <td>32</td> <td>18</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>61.5</td> <td>34.6</td> <td>3.8</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>※施策数は再掲事業を含む。</p>	評価区分	A	B	C	D	E	計	施策数	32	18	2	0	0	52	割合(%)	61.5	34.6	3.8	0.0	0.0	100	<p>□ひとり親家庭の子育てや生活全般に関わる相談・情報提供、生活支援や経済的支援、就労支援の充実を図る。</p> <p>□障害のある子どもに対する保育・教育内容や相談体制の充実を図る。</p> <p>□児童養護施設や里親のもとで育つ子どもや、虐待を受けた子どもに対する理解促進や支援、多胎児がいる家庭に対する支援に努める。</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■母子家庭に対する手当や医療費助成等の経済的支援や雇用奨励金、高等職業訓練促進給付金の支給による自立支援を図った。 ■障害のある子どもへの支援としては、手当等の支給を行ったほか、幼児教育研究所での相談・訓練事業や加配保育士・特別支援員の配置、通級指導教室の設置など療育関連事業の充実を図った。 ■里親制度や多胎児についての講演会や研修を実施、広報啓発に努めた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■発達障害についての認知度の向上や、相談件数の増加に対応するための支援の充実が必要である。 	<p>○自立支援プログラム策定対象者の就職率 目標:90%以上 実績:37.5%⇒83%</p> <p>○発達相談者数 目標:800人 実績:500人⇒1,190人</p> <p>○発達訓練利用者数 目標:5,800人 実績:4,444人⇒7,913人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●児童扶養手当の支給 ●ひとり親家庭等医療費の助成 ●特別児童扶養手当の支給 ●障害児福祉手当の支給 ●重度障害児(者)医療費の助成 ●母子家庭への就労支援 ●高等技能訓練促進事業の実施 ●自立支援教育訓練給付金事業の実施 ●単親家庭家事援助の実施 ●母子専属福祉資金の貸付 ●ファミリー・サポート・センター利用料助成事業 ●母子生活支援施設の運営 ●多胎育児支援の実施 ●障害児に対する一貫した支援の推進 ●発達支援事業の充実 ●障害児保育の推進
評価区分	A	B	C	D	E	計																				
施策数	32	18	2	0	0	52																				
割合(%)	61.5	34.6	3.8	0.0	0.0	100																				
(5) 子育てと仕事の両立の推進	<p>総合的評価 B 80.0</p> <table border="1"> <tr> <td>評価区分</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>施策数</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>※施策数は再掲事業を含む。</p>	評価区分	A	B	C	D	E	計	施策数	9	9	0	0	0	18	割合(%)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100	<p>□労働者、事業主、市民に対して、ワーク・ライフ・バランス等に関する広報啓発や情報提供を行う。</p> <p>□出産や子育てのために退職した場合の再就職支援や保育サービス・子育て支援サービスを充実により働く保護者の子育てと仕事の両立支援を図る。</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■仕事と家庭の両立支援モデル事業所の表彰や就職準備セミナー、ワークライフバランスに関するセミナー等を開催し、子育てと仕事の両立に向けた・啓発に努めた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■仕事と子育ての両立について、引き続き啓発の推進や女性の活躍促進につながる新たな事業の検討を行う必要がある。 	<p>○仕事と家庭の両立支援モデル事業所表彰数 目標:23ヶ所 実績:14ヶ所⇒22ヶ所</p> <p>○育児休業制度導入事業所率 目標:75%以上 実績:67.2%(20年度)⇒79.1%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●職業生活における仕事と子育ての両立への取り組みに向けた広報・啓発の実施 ●仕事と家庭の両立支援モデル事業所の表彰
評価区分	A	B	C	D	E	計																				
施策数	9	9	0	0	0	18																				
割合(%)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100																				
(6) 子育てに関わる経済的負担の軽減	<p>総合的評価 A 85.7</p> <table border="1"> <tr> <td>評価区分</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>E</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>施策数</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>85.7</td> <td>7.1</td> <td>7.1</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>※施策数は再掲事業を含む。</p>	評価区分	A	B	C	D	E	計	施策数	12	1	1	0	0	14	割合(%)	85.7	7.1	7.1	0.0	0.0	100	<p>□子育て家庭の生活支援の一環として、各種手当の支給や、医療費の助成などを行う。</p> <p>□保育料の軽減や奨学金の支給等により、負担の軽減を図る。</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■保護者の経済的負担の軽減を図るため、市の独自制度としての保育料の軽減措置や乳幼児医療費助成の対象拡大を実施したほか、児童手当や幼稚園の就園奨励費などの支給を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■今後も国の制度改革等に合わせて適切に制度の見直しを行っていく必要がある。 	<p>(数値目標設定施策なし)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども手当の支給 ●乳幼児医療費の助成 ●保育料の軽減 ●幼稚園就園奨励費の支給 ●就学援助の実施 ●各種奨学金の支給
評価区分	A	B	C	D	E	計																				
施策数	12	1	1	0	0	14																				
割合(%)	85.7	7.1	7.1	0.0	0.0	100																				

基本目標2 子どもが健やかに育つ環境づくり

総括的評価 **B** 78.8

評価区分	A	B	C	D	E	計
施策数	15	19	0	0	0	34
割合(%)	44.1	55.9	0.0	0.0	0.0	100

※施策数は再掲事業を含む

基本施策	後期計画の達成状況	主な施策の方向	主な実績と課題	主な目標数値の達成状況	くるめ子どもの笑顔プランに引き継いだ施策																					
(1) 親子の健康づくり支援	<p>総括的評価 B 77.0</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価区分</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施策数</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>35.0</td> <td>65.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>※施策数は再掲事業を含む。</p>	評価区分	A	B	C	D	E	計	施策数	7	13	0	0	0	20	割合(%)	35.0	65.0	0.0	0.0	0.0	100	<p>□妊産婦に対して、健康診査や訪問指導などを行い、妊娠・出産に対する身体的・精神的側面からの支援の充実に努める。</p> <p>□乳幼児の健康づくりや子育てに関する情報提供・相談対応を行い、保護者の子育て不安の軽減に努めるとともに、予防接種や乳幼児健康診査、訪問指導などにより、乳幼児の健康づくりを支援する。</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■母子手帳交付時の面接を専門職による完全実施や「妊娠ホットライン」の開設により、妊婦の早期支援につながった。 ■H24年度から市保健師による新生児・産婦訪問を行い、新生児・産婦訪問からハイリスク訪問まで、継続的な支援ができるようになった。 ■乳幼児健診や予防接種、離乳食教室の実施により乳幼児の健康づくりに努めた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■健診内容の見直しや受診率向上の取組、家庭や地域全体での食育推進が必要である。 	<p>○妊婦健康診査受診率 目標:100% 実績:98.2%⇒99.1%</p> <p>○新生児訪問率 目標:100% 実績:83.1%⇒96.6%</p> <p>○乳幼児健診受診率 目標:100% 実績:4ヶ月児 98.9%・10ヶ月児91.6%・1歳6ヶ月児91.7%・3歳児87.2%⇒93.8%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●妊婦健康診査の実施
評価区分	A	B	C	D	E	計																				
施策数	7	13	0	0	0	20																				
割合(%)	35.0	65.0	0.0	0.0	0.0	100																				
(2) 思春期の健康づくり支援	<p>総括的評価 A 80.9</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価区分</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施策数</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>54.5</td> <td>45.5</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	評価区分	A	B	C	D	E	計	施策数	6	5	0	0	0	11	割合(%)	54.5	45.5	0.0	0.0	0.0	100	<p>□食育などの健康教育の充実、喫煙や飲酒、薬物乱用の有害性、性に対する正しい知識の普及を図る。</p> <p>□子どもの心や身体の悩みに関する相談・支援体制の充実を図る。</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■食育実践モデル校による実態調査、講演会、料理教室の実施による食育の充実や、喫煙や薬物乱用防止に関する教育などを実施した。 ■市常駐カウンセラーの配置により緊急的な相談が対応可能になるなど相談件数の増加につながった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■相談件数の増加に伴い相談時間を確保するための対応策が必要である。 	<p>○朝食をほぼ毎日食べる小・中学生の割合 目標:95%以上 実績:85%(18年度)⇒93%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●健康教育・保健指導の充実 ●心の教育の推進
評価区分	A	B	C	D	E	計																				
施策数	6	5	0	0	0	11																				
割合(%)	54.5	45.5	0.0	0.0	0.0	100																				
(3) 小児医療の充実	<p>総括的評価 A 83.3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価区分</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施策数</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>66.7</td> <td>33.3</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	評価区分	A	B	C	D	E	計	施策数	2	1	0	0	0	3	割合(%)	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	100	<p>□近隣市町村や医師会などの関係機関と連携し、小児救急医療体制の確保を図る。</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■在宅当番医制度や夜間小児救急医療等の実施により、休日・夜間の診療体制が確保された。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■小児救急医療電話相談(＃8000)の周知が必要である。 	<p>○小児救急医療平均待ち時間 目標:20分以内 実績:20分⇒26分</p>	
評価区分	A	B	C	D	E	計																				
施策数	2	1	0	0	0	3																				
割合(%)	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	100																				

基本目標3 子どもの生きる力を育む環境づくり

総括的評価 **A** 81.1

評価区分	A	B	C	D	E	計
施策数	40	32	0	0	0	72
割合(%)	55.6	44.4	0.0	0.0	0.0	100

※施策数は再掲事業を含む

基本施策	後期計画の達成状況	主な施策の方向	主な実績と課題	主な目標数値の達成状況	くるめ子どもの笑顔プランに引き継いだ施策																					
(1) 次世代を育む親となるための支援	<p>総括的評価 A 83.3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価区分</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施策数</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>66.7</td> <td>33.3</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>※施策数は再掲事業を含む。</p>	評価区分	A	B	C	D	E	計	施策数	4	2	0	0	0	6	割合(%)	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	100	<p>□男女がともに協力して子育てに関わることや、子どもを生み、育てることの意義に関する教育や広報啓発に取り組む。</p> <p>□中学生・高校生等が乳幼児とふれあい、子育ての体験ができる機会を設ける。</p>	<p>【実績】</p> <p>■ 中学生を対象とした乳幼児との交流・体験を実施したほか、子育てババママ応援セミナーを開催や男女共同参画教育啓発リーフレットを配布するなど男女がともに関わる子育ての啓発に努めた。</p> <p>【課題】</p> <p>■ 中学生の子育てボランティア参加については、学生や保護者、学校へ周知方法の工夫や学生が参加しやすいカリキュラムを作成する必要がある。</p>	<p>○男女共同参画教育推進計画策定校数 目標:63校 実績:54校⇒63校</p> <p>○中・高生子育てボランティア参加者数 目標:計画期間内延べ100人 実績:16人⇒計画期間内延べ92人</p>	
評価区分	A	B	C	D	E	計																				
施策数	4	2	0	0	0	6																				
割合(%)	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	100																				
(2) 教育環境の充実	<p>総括的評価 B 80.3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価区分</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施策数</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>51.5</td> <td>48.5</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>※施策数は再掲事業を含む。</p>	評価区分	A	B	C	D	E	計	施策数	17	16	0	0	0	33	割合(%)	51.5	48.5	0.0	0.0	0.0	100	<p>□乳幼児保育・教育に関する研究や情報提供、私立幼稚園助成や幼稚園における教育の充実や幼稚園教諭の資質向上を図る。</p> <p>□地域と連携した体験活動や地域の人材との協力による授業の実施など、特色ある学校づくりを推進する。</p> <p>□教員の資質向上、学校施設の整備・安全確保に取り組むとともに、地域に開かれた信頼される学校づくりに努める。</p> <p>□学校や関係機関等と連携し、不登校やひきこもりなどに関する相談や指導・支援の充実を図る。</p>	<p>【実績】</p> <p>■ 幼児教育研究所での乳幼児保育・教育に関する啓発、相談や幼保小合同研修による連携強化を図った。</p> <p>■ 市単独少人数非常勤講師の配置やボランティア活動による福祉教育の推進、小中学校の耐震化などの学校施設の整備など様々な分野での教育の推進が図られた。</p> <p>■ 適応指導教室や生徒指導サポーターの配置により不登校や引きこもりに関する支援を行った。</p> <p>【課題】</p> <p>■ 不登校等への相談事業では相談内容の複雑化・複合化等個々に応じた対応や、関係機関との緊密な連携が必要となっている。</p>	<p>○幼児教育の研究冊子作成回数 目標:10回 実績:8回⇒8回</p> <p>○幼保小合同研究会参加者数 目標:350人 実績:330人⇒411人</p> <p>○小・中学校におけるボランティア活動実施校数 目標:63校 実績:57校⇒63校</p>	● 幼保小連携体制の充実
評価区分	A	B	C	D	E	計																				
施策数	17	16	0	0	0	33																				
割合(%)	51.5	48.5	0.0	0.0	0.0	100																				
(3) 子どもの育ちを育む施策の充実	<p>総括的評価 A 81.5</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価区分</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施策数</td> <td>19</td> <td>14</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>57.6</td> <td>42.4</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>※施策数は再掲事業を含む。</p>	評価区分	A	B	C	D	E	計	施策数	19	14	0	0	0	33	割合(%)	57.6	42.4	0.0	0.0	0.0	100	<p>□放課後や週末等に子どもが自由に集い、安全に過ごすことができる居場所づくりを推進する。</p> <p>□豊かな自然環境などの資源を活用した各種体験活動の推進を図る。</p> <p>□いじめや非行、ひきこもり等に関する相談・支援体制の充実を図る。</p> <p>□家庭、学校、地域、関係機関等と連携し、いじめや非行、等に対応するネットワークの充実・強化や相談支援体制の充実を図る。</p>	<p>【実績】</p> <p>■ 地域での子どもの居場所づくりや様々な体験型の事業を実施し、一方で、指導ボランティアやプレーリーダーの養成に努めた。</p> <p>■ H24年度に久留米市青少年の非行を生まない社会づくり推進対策本部を設立し関係機関と連携して非行等の防止対策を行った。</p> <p>【課題】</p> <p>■ 地域と連携した居場所づくりの支援や、ボランティアを活用した事業の仕組みづくりが必要である。</p>	<p>○児童センター来館者数 目標:25,000人 実績:24,841人⇒51,386人</p> <p>○プレーリーダー登録者数 目標:延べ30人 実績:16人⇒延べ48人</p>	
評価区分	A	B	C	D	E	計																				
施策数	19	14	0	0	0	33																				
割合(%)	57.6	42.4	0.0	0.0	0.0	100																				

基本目標4 子育て・子育てにやさしい環境づくり

総合的評価 **B** 77.3

評価区分	A	B	C	D	E	計
施策数	14	13	3	0	0	30
割合(%)	46.7	43.3	10.0	0.0	0.0	100

※施策数は再掲事業を含む

基本施策	後期計画の達成状況	主な施策の方向	主な実績と課題	主な目標数値の達成状況	くるめ子どもの笑顔プランに引き継いだ施策																					
(1) 子育てに配慮した生活環境の整備	<p>総合的評価 B 79.3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価区分</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施策数</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>60.0</td> <td>26.7</td> <td>13.3</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	評価区分	A	B	C	D	E	計	施策数	9	4	2	0	0	15	割合(%)	60.0	26.7	13.3	0.0	0.0	100	<p>□子育て家庭にも配慮した市営住宅の整備・改築を計画的に推進する。</p> <p>□子どもや子ども連れの保護者等が安全に歩行できる歩道等の環境整備に努める。</p> <p>□公共施設のバリアフリー化やユニバーサルデザインの視点を踏まえた整備の推進に努める。</p> <p>□公共施設等へのベビーベッドの設置、トイレの整備など、子ども連れの利用に配慮した施設整備に努める。</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■市営住宅のバリアフリー化や多子世帯世帯専用募集枠の設置、歩道整備など安心・安全な道路・交通環境の整備を各計画に基づき実施した。 ■公共施設整備においても子ども連れの利用に配慮した施設整備を行い、授乳やオムツ替えスペースがある「赤ちゃんの駅」の登録拡大に努めた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■子ども連れに配慮した施設の情報提供を進めていく必要がある。 	<p>○赤ちゃんの駅設置か所数 目標:30ヶ所 実績:未設置⇒95ヶ所</p>	
	評価区分	A	B	C	D	E	計																			
施策数	9	4	2	0	0	15																				
割合(%)	60.0	26.7	13.3	0.0	0.0	100																				
(2) 子どもの安全確保	<p>総合的評価 B 75.3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価区分</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施策数</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>33.3</td> <td>60.0</td> <td>6.7</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>※施策数は再掲事業を含む。</p>	評価区分	A	B	C	D	E	計	施策数	5	9	1	0	0	15	割合(%)	33.3	60.0	6.7	0.0	0.0	100	<p>□子どもや保護者に対する交通安全教育の充実を図り、運転者に対しても交通安全意識の向上に努める。</p> <p>□学校、警察等の関係機関との連携により、子どもや保護者に対する防犯教育の充実を図る。</p> <p>□地域住民による子どもの見守りや防犯活動の推進する。</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■児童生徒や保護者に対し交通安全教室の開催するなど啓発活動を推進した。 ■地域における防犯活動を推進するため、子どもを見守るサポーター制度や地域の自主防犯活動への支援を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域や警察等の関係機関と連携して防犯対策や防犯意識向上に取り組んでいく必要がある。 	<p>○交通安全教室への子どもの参加者数 目標:12,000人 実績:8,816人⇒10,970人</p> <p>○青色回転灯/バイク貸与件数 目標:220件以上 実績:151件⇒252件</p>	
評価区分	A	B	C	D	E	計																				
施策数	5	9	1	0	0	15																				
割合(%)	33.3	60.0	6.7	0.0	0.0	100																				